



環境かわら版

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyo-c/0000007029.html>

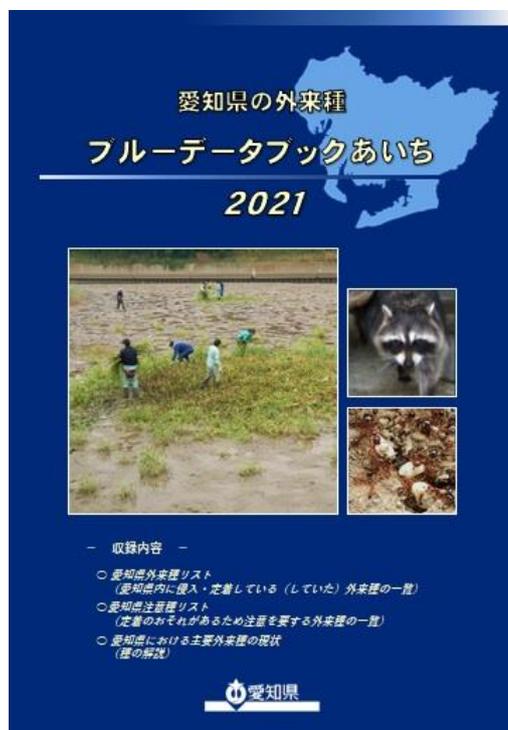
2021年5月号 (第300号)



2020年度水質パトロール隊の受賞グループを表彰しました(P3)



地球温暖化に関する環境学習の講師を紹介する「温暖化まなびネット」をご利用ください(P6)



「ブルーデータブックあいち2021」を作成しました(P4)



愛知県は「SDGs 未来都市」として、SDGs (持続可能な開発目標) の達成に向けた取組を推進しています。

「環境かわら版」Web ページは
こちらから



今月号とバックナンバーを掲載しています。



「あいち自動車ゼロエミッション化加速プラン」を 策定しました



世界の地球温暖化対策が2050年のCO₂排出量実質ゼロを目指す方向へ大きく舵を切りつつある中、将来的な自動車からのCO₂排出ゼロを目指すためには、エネルギーの脱炭素化と並行して、走行時にCO₂を排出しないEV*1・PHV*2・FCV*3の普及（自動車ゼロエミッション化）加速が必要です。

そこで、愛知県では、2030年度のEV・PHV・FCVの普及目標と、その達成に向けた取組の方向性を示すため、有識者からなる検討委員会での検討を踏まえ、2021年3月に「あいち自動車ゼロエミッション

化加速プラン」を新たに策定しました。

今後は、本プランに基づき、関係事業者、市町村等と連携・協力を深めながら、自動車ゼロエミッション化の加速に向けた取組を推進し、持続可能なモビリティ社会の構築を目指します。

詳しくはWebページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/ondanka/evphvfcv.html>)



- *1 EV …電気自動車
- *2 PHV…プラグインハイブリッド自動車
- *3 FCV…燃料電池自動車

1 EV・PHV・FCVの普及目標

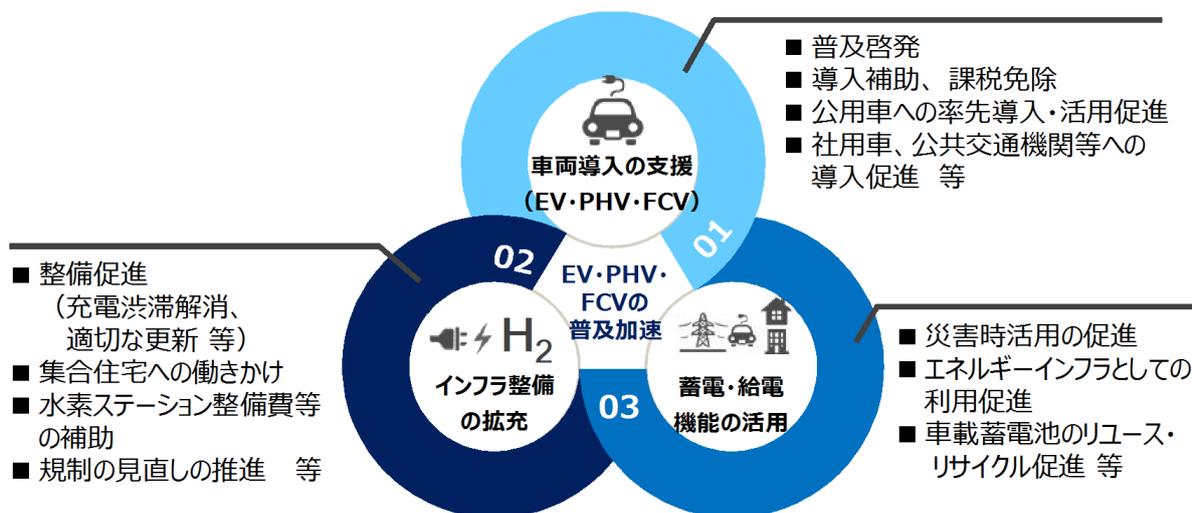
「あいち地球温暖化防止戦略2030」において、運輸部門のCO₂の排出削減目標を以下のとおり設定しています。将来の自動車CO₂排出量の推計を行い、目標が達成可能な普及状況として、以下のとおり設定しました。

	項目	実績	目標
あいち地球温暖化防止戦略2030	運輸部門	13,327千t-CO ₂	9,476千t-CO ₂
	CO ₂ 排出量	(2013年度) $\Delta 28.9\%$	(2030年度)
あいち自動車ゼロエミッション化加速プラン	EV・PHV・FCV 新車販売割合*	1.4% (2018年度)	30% (2030年度)

*普及対象（乗用車、バス、トラック）の合計割合

2 施策内容

車両導入の支援、車両の普及を支えるインフラ（充電インフラ、水素ステーション）整備の拡充、蓄電・給電機能の活用を一体的に進め、EV・PHV・FCVの普及加速を図る施策を進めます。



目標達成に向けた施策イメージ

地球温暖化対策課 自動車環境グループ
電話 052-954-6217 (ダイヤルイン)

2020 年度水質パトロール隊の受賞グループを表彰しました



川や海の汚れの大きな原因の一つは、家庭から出される生活排水となっています。

愛知県では、県民の皆さんの水環境や生活排水対策への関心を高めるため、小中学生を中心としたグループが身近な水辺の水質や生きものを調査する「水質パトロール隊」事業を1998年度から行っています。

2020年度は、43グループ(1,226名)による活動が行われ、調査の結果をレポートとして提出していただきました。

このうち特に優れた活動を行った4グループの受賞を決定し、3月24日に愛知県自治センターで表彰式を行いました。



最優秀賞 おとこきょうだい・水質パトロール隊の皆さん

2020 年度水質パトロール隊受賞グループ

最優秀賞 おとこきょうだい・水質パトロール隊(家族)

優秀賞 日長川水質調査隊(家族)

特別賞(PR賞) 豊橋市立南陵中学校(学校)

受賞者の皆さん本当におめでとうございます。

どのグループも調査方法やまとめ方を工夫されており、魅力のあふれる素晴らしいレポートばかりでした。

水質パトロール隊参加者の活動レポートはWebページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/mizutaiki/2020mizupato-hyosho.html>)



水大気環境課生活環境地盤対策室三河湾環境再生グループ
電話 052-954-6220 (ダイヤルイン)

2021 年度水質パトロール隊の参加者を募集しています!



愛知県では、小中学生の皆さんに、身近な川の水質などを調査しながら、生活排水に関することや川・海の環境を守るためにできることを考えていただくため、2021年度も「水質パトロール隊」として活動して下さるグループを募集しています。

1 募集対象

県内にお住まいの小中学生を中心としたグループ(ご家族、学校、近所のお友達同士など、メンバーや人数等は問いませんが、連絡調整や安全管理のため、大人の方1名を代表者としてご登録ください。)

2 募集期間

4月23日(金)から8月31日(火)まで

3 活動内容

- 県から送付される調査マニュアルや水質検査キットを使用し、川の水質調査や水辺の生きものの観察、生活排水についての考察などを実施

- 調査の結果や気が付いたことなどをレポートにまとめて、10月29日(金)までに提出

4 その他

ご提出いただいたレポートは、県のWebページに掲載し、優秀な取組を行ったグループについては、表彰を行います。

詳細はWebページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/mizutaiki/mizupato2021.html>)



皆さんの参加、
待ってま〜す!



水質パトロール隊PRキャラクター かつぱとくん

水大気環境課生活環境地盤対策室三河湾環境再生グループ
電話 052-954-6220 (ダイヤルイン)

「干潟・浅場・藻場のはたらきについて学べる 環境学習資材（パズル）」を作成しました



三河湾は、古くから今に至るまで、豊かな海の恵みをもたらしてくれる里海ですが、陸域から流入する汚濁負荷の増大や、沿岸域にある干潟・浅場・藻場の埋立等により、環境が悪化しました。現在、陸域から流入する汚濁負荷は減少してきたものの、依然として環境基準が達成されていない海域があります。

愛知県では、こうした状況を背景に、三河湾の環境再生に向けた取組を進めるため、「三河湾環境再生プロジェクト」として、「三河湾大感謝祭」や「三河湾環境再生体験会」などの様々な事業を行っています。

この度、このプロジェクトの一環として、三河湾の環境再生に重要な役割をもつ干潟・浅場・藻場やそこにすむ生きものについて学んでいただくため、子ども（6歳程度以上）向けの環境学習資材「三河湾の生きものさがしパズル なにがいるかな？どこにいるかな？」を作成しました。

この資材はアサリなどの三河湾の代表的な生きもののピースを箱から取り出し、干潟・浅場・藻場が描かれたボードにはめ込むパズルとなっています。

ボードには生きものの特徴や働き等の解説が記載されており、楽しみながら三河湾の生きもの等について学んでいただけます。



三河湾の生きものさがしパズル

パズルは、あいち環境学習プラザ(名古屋市北区)に常設するほか、三河湾大感謝祭などの県環境局主催のイベントブース等でも体験いただけます。

水大気環境課生活環境地盤対策室三河湾環境再生グループ
電話 052-954-6220 (ダイヤルイン)

「ブルーデータブックあいち2021」を作成しました



愛知県では、外来種が地域の生態系に及ぼす影響について理解を深め、生物多様性保全の取組を推進するため、外来種の生息生育状況等の情報を取りまとめた「愛知県の移入動植物 ブルーデータブックあいち2012」を公表しています。

この度、2016年度から2020年度までに行った県内の外来種調査の結果を踏まえ、最新の状況を取りまとめた「愛知県の外来種 ブルーデータブックあいち2021」を作成しました。各生物群の外来種の概況等とともに、県内に生息・生育する外来種リスト*1や種の解説*2も掲載しています。

ブルーデータブックあいちには、Web ページ「あいちの環境」内の「STOP! あいちの外来種」から、ダウンロードできます。詳細はWeb ページをご覧ください。
(<https://www.pref.aichi.jp/kankyo/sizen-ka/shizen/gairai/index.html>)



ブルーデータブックあいち
種の解説

*1 愛知県内に侵入・定着している（していた）外来種の一覧「愛知県外来種リスト」及び、定着には至っていないが注意を要する外来種の一覧「愛知県注意種リスト」を掲載

*2 外来種リストに掲載したもののうち、特に環境影響が大きい、又は今後大きくなることが予想される動植物について、種ごとに形態、特徴や県内の分布等の情報を掲載

自然環境課 野生生物・鳥獣グループ
電話 052-954-6230 (ダイヤルイン)
環境調査センター 企画情報部
電話 052-908-5112 (ダイヤルイン)

循環ビジネス創出支援サイト「あいち資源循環ナビ」を リニューアルオープンしました



愛知県では、産業廃棄物税を活用して、3R（リデュース、リユース、リサイクル）を始め資源循環に関する情報を発信するウェブサイト「あいち資源循環ナビ」を運用しています。

この度、コンテンツを見直し、循環資源の提供事業者と再生・利用事業者のマッチング、「あいち資源循環推進センター」が行う循環ビジネス支援制度や「愛知環境賞」の表彰事例の紹介など、循環ビジネスの創出支援のためのサイトとしてリニューアルオープンしましたので、是非ご活用ください。

(<https://aichi-shigen-junkan.jp>)



サイトトップページ

<主なコンテンツ>

(1) 循環資源事業者マッチングシステム

事業活動に伴って発生する循環資源の有効利用を促進するため、循環資源の提供事業者と再生・利用事業者の情報が簡単に検索でき、両者のマッチングを支援します。

(2) 循環ビジネス支援

循環型社会形成推進事業費補助金等の支援制度の紹介や「あいち環境塾」の情報を発信します。

(3) 愛知環境賞

資源循環や環境負荷の低減に関する先駆的で効果的な取組を表彰する「愛知環境賞」について、募集情報や表彰事例などを紹介します。

(4) 資源循環学習

モノの始まりからリサイクルまで幅広く学習できるほか、動画によるリサイクル工場見学やクイズなどで、「このはずく三英傑」と楽しく資源循環を学ぶことができます。



このはずく三英傑

循環資源の提供事業者と再生・利用事業者の情報がインターネット上で簡単に登録・検索できます。

循環資源とは…廃棄物や副産物、再生原料など

循環資源 提供 事業者

- ✓ 廃棄物の最終処分量を減らしたい
- ✓ 副産物を他社で有効利用してほしい
- ✓ 再生原料を売却したい など



マッチング



循環資源 再生・利用 事業者

- ✓ 廃棄物処理を委託して欲しい
- ✓ 他社の副産物を製品の原料にしたい
- ✓ 再生原料を使った製品を作りたい など

■ システムの使い方

1 検索

地域や循環資源の種類などを
選択して検索

■ 循環資源の種類

木くず

■ 地域

名古屋市

検索

2 確認

気になった会社の詳細を確認

資源循環株式会社

循環資源の種類 : 木くず

循環資源の品名 : 粉砕木くず

循環資源の処理量 : 100kg/月

循環資源の提供先 : 名古屋市

3 問い合わせ

■ メールフォームから

CONTACT

お問い合わせ

お問い合わせ

お問い合わせ

■ 電話・FAXで

お問い合わせ

お問い合わせ

お問い合わせ

お問い合わせ



ビジネスパートナーに！

事業者
登録も
簡単！



循環資源事業者マッチングシステム

資源循環推進課 循環グループ
電話 052-954-6233 (ダイヤルイン)

公害対策でお悩みの皆様へ

～金利の一部を利子補給します！～



愛知県では、中小企業の皆さんに愛知県経済環境適応資金(パワーアップ資金)の融資を行っており、公害を防除するために必要な施設の設置や、公害を防止するための工場移転が対象となります。

さらに、公害防除施設や工場移転の融資には、「利子補給」制度があります。利子補給とは、支払利子額の一部を愛知県が補助することで、ご返済にかかる負担を軽減するものです。

融資についてのお尋ねや、ご相談は随時受け付けておりますので、環境対策への設備投資を是非ご検討ください。

詳細はWebページをご覧ください。



愛知県 公害対策

検索

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyo/0000069974.html>)

○融資の条件

融資限度額	1億5,000万円
融資期間/利率	1年超 5年以内/年1.1%以内 5年超 7年以内/年1.2%以内 7年超 10年以内/年1.3%以内
利子補給率	支払利子額の60% (公害防除施設5,000万円、工場移転7,000万円の上限額有り)
返済方法	据置1年以内 原則、元金均等分割返済

○利子補給の適用となる融資の対象

公害防除施設	公害防除に必要な施設の設置や改善等を講ずるための経費 例:集じん施設、汚水処理施設、防音施設
工場移転	現在地での公害防止が困難なため移転し、移転先で必要な措置を講ずるための経費 例:移転費、用地取得費、公害防除設備費

〔環境政策課 法規・融資・補償グループ
電話 052-954-6209 (ダイヤルイン)〕

地球温暖化に関する環境学習の講師を紹介する 「温暖化まなびネット」をご利用ください



愛知県では、県民の皆さんの自発的な地球温暖化対策活動を支援するため、「温暖化まなびネット」を開設しています。

「温暖化まなびネット」では、地球温暖化に関する講演会の講師や環境学習の指導者等として登録いただいた個人や団体を紹介しています。学校や職場、町内会などの身近な場での環境学習講座や講演を行う際には是非ご利用ください。

1 「温暖化まなびネット」の利用方法

県地球温暖化対策課のWebページから、登録された講師の方への講演や環境学習講座等を依頼することができます。



登録講師による授業風景

依頼手順

- (STEP1) Webページの講師登録リストから希望する講師を選定
- (STEP2) 希望する日時、場所、人数等を所定の様式に記入し県へメールなどで送付
- (STEP3) 講師と実施内容の打合せ
- (STEP4) 講演や環境学習講座の実施

2 講師登録リスト

現在、34の個人及び団体に講師や指導者として登録いただいています。新たに講師等として登録いただける方も募集していますので、熱意・経験のある方の登録をお待ちしています。

詳細はWebページをご覧ください。



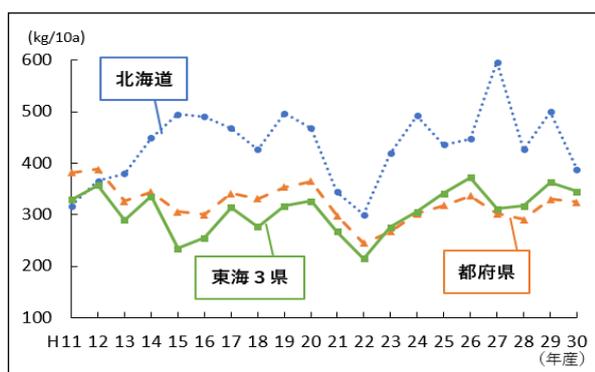
(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/ondanka/onmananet.html>)

〔地球温暖化対策課 調整・企画グループ
電話 052-954-6213 (ダイヤルイン)〕

1 気候変動に強い「きぬあかり」

愛知県での小麦の栽培は、主に西尾市、安城市などの西三河地域で行われており、5月下旬～6月中旬頃に収穫期を迎えます。東海地方は梅雨入りが6月8日頃（平年値）であり、ちょうど小麦の収穫時期に梅雨入りすることが多くなっています。しかしながら小麦は、収穫時期に雨に濡れると倒伏や刈り遅れ等により品質が低下してしまうことがあります。

県で開発され、2011年に品種登録された小麦「きぬあかり」は、従来品種よりも収穫時期が早く、梅雨にかかりにくいことが特徴です。また、収量が多い、茎が強く倒伏しにくい、湿害に強いなどの強みがあり、県の主力品種になっています。「きぬあかり」の生産拡大もあって、東海3県の小麦の単収（10a当たりの収穫量）は、増減があるものの、平成23年（2011年）産以降は都府県平均を上回っています。



小麦の単収の推移

農林水産省・東海農政局「東海地域の麦をめぐる事情」
(2019年6月発行)を基に作成

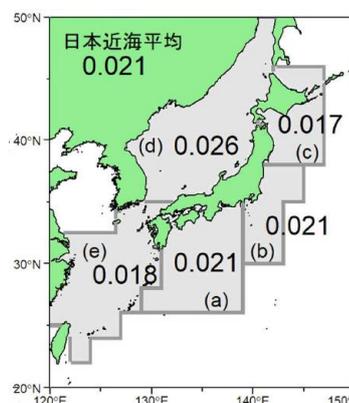
「きぬあかり」は、その強みから、静岡県において、近年の温暖化や天候不良による小麦の収量や品質の不安定な状態に対応するための奨励品種に採用されるなど、気候変動への適応に活かされている品種といえます。

また、県内には、きしめんや味噌煮込みうどんなどの独自のめん文化がありますが、めん類の原料に地元産の小麦の粉を使用し、地産地消を推進することは、輸送に伴う二酸化炭素 (CO₂) の排出を抑制する緩和策にもなります。

2 海洋酸性化の進行

大気と海洋の間では、相互に CO₂ の移動が行われていますが、地球全体で見ると、海洋は、産業革命以降、人為的に大気中に排出された CO₂ の約 30% を吸収しており、このことで海水の pH が少しずつ下がる「海洋酸性化」が進行しています。

気象庁の海洋観測により、日本近海における海面付近では、1998 年から 2020 年にかけて、世界平均と同程度となる 10 年あたり約 0.02 の速度で pH が低下していることが明らかになっています。



日本近海における 10 年当たりの pH の低下
(気象庁 Web ページより図を引用)

海洋酸性化は「もう 1 つの CO₂ 問題」と呼ばれており、特に海洋生態系に大きな影響を与える可能性が指摘されています。例えば、サンゴや貝類などの骨格や殻の発達・形成が阻害されると考えられており、観光産業や水産業などへの影響が懸念されています。

また、海洋酸性化が進行すると、化学的に CO₂ が海水に溶けにくくなるため、海水の CO₂ を吸収する能力が低下する可能性が指摘されています。その結果、大気中に留まる CO₂ の割合が増え、地球温暖化が更に加速することが懸念されています。

これらの進行を防ぐためには、CO₂ の排出を抑制する緩和策に積極的に取り組んでいくことが重要です。

環境調査センター 企画情報部
気候変動適応センター
電話 052-910-5489 (ダイヤルイン)

中小事業者のための

「エコアクション21 認証取得講習会」を開催します



「エコアクション21 (EA21)」は、環境省が策定し普及を進めている環境マネジメントシステムです。このシステムは、中小事業者の方々が、自主的な環境保全への取組を継続的に行うための仕組みで、環境経営に容易に取り組めるよう工夫されています。愛知県では公契約の際に、ISO14001などととも重点評価項目として位置付けています。

この度、5月から7月にかけて「EA21認証取得講習会」(全4回)を開催します。この講習会では、認証審査を行うEA21審査員を講師に迎え、きめ細かで具体的な助言・指導、フォローアップを受けることで、認証取得に必要な準備を行うことができます。是非ご参加ください。

1 開催日時

第1回 5月19日(水) 第2回 6月8日(火)
第3回 6月29日(火) 第4回 7月20日(火)
時間はいずれも13:30~16:30

2 開催場所

- ・第1回
愛知県環境調査センター 1F 第一会議室
(名古屋市北区辻町字流7-6)
- ・第2回~第4回
(一社)愛知県産業資源循環協会 3F 会議室
(名古屋市中区金山2-10-9 第8フクマルビル)

3 対象・定員

環境経営に関心があり、EA21の認証取得を希望する事業者20社(先着順) 各事業者1~2名

4 参加費

無料(ただし、認証・登録に要する費用は別途必要です。)

5 主催

愛知県、名古屋商工会議所、
(一社)愛知県産業資源循環協会、
エコアクション21 地域事務局あいち

6 内容

- ・全体説明
- ・EA21 ガイドラインの要求事項の理解
- ・環境経営レポートの作成と公表について
- ・審査申込み及び審査・認証取得まで

7 申込方法

5月14日(金)までに、参加申込書(Webページに掲載)により、Eメール又はFAXでお申込みください。

8 申込先・問合せ先

エコアクション21地域事務局あいち
Eメール: ea21-aeca@mbr.nifty.com
電話及びFAX: 052-471-7477

詳細はWebページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyokatsudo/ea21kousyuu.html>)



環境活動推進課 調整・環境配慮行動グループ
電話 052-954-6241 (ダイヤルイン)

※ 掲載の研修会やイベントは、新型コロナウイルス感染症などにより、内容を変更又は中止する場合があります。

愛知県環境情報紙「環境かわら版」
2021年5月6日発行(第300号)
編集・発行 愛知県環境調査センター
企画情報部
〒462-0032 名古屋市北区辻町字流7-6
電話 052-908-5112(ダイヤルイン)

編集後記

環境かわら版は、1996年4月創刊以来、25年間毎月発行し、通算300号を迎えました。四半世紀の間、環境に関する課題は変化し、かわら版はその時々々の施策や出来事をお伝えしてきました。

今後も、SDGsの達成へ向け、環境かわら版を通して、環境・経済・社会の向上に関する、“今”を反映した最新の情報をお届けするよう努めていきます。
(企画・編集チーム)

※ 「環境かわら版」は、環境局Webページ「あいちの環境」<https://www.pref.aichi.jp/kankyo/>に掲載しています。

「あいちの環境」は右のQRコードからアクセスできます。

※ QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です。

掲載記事は広報紙等へ再掲していただきますようお願いいたします。

